

登録コード	TSJ09600	開講年度	2026				
授業科目	数理ソフトウェア工学演習				担当教員	岡野 浩三	
英文授業名	Software Engineering and Science Tutorial 2				副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	情報数理・融合システム分野 2年生	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				最新のソフトウェア工学技術を研究する力		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				研究内容を適切に発表できる力		
(2)授業の概要	形式仕様記述、デザインパターン、プロダクトライン、アспект指向を中心とする情報・ソフトウェアの基礎技術の最新のトピックスについて、その数理的基礎を理解する。 担当教員ごとの少人数グループで集中講義形式にて実施し、前期集中2 0 時間、後期集中2 5 時間の合計4 5 時間の演習を実施する。						
(3)授業計画	各回集中5 時間（1 コマ2 時間×1 日2 . 5 コマ）で実施する。 前期 第1 回：ガイダンス，基礎演習および解説 第2 回：ソフトウェア工学に関する文献調査演習 第3 回：ソフトウェア工学に関する文献調査演習 第4 回：グループ討論 第5 回：ソフトウェア工学に関するプレゼンテーション演習 第6 回：ソフトウェア工学に関するプレゼンテーション演習 第7 回：ソフトウェア工学に関する英語基礎学術論文輪講および解説 第8 回：ソフトウェア工学に関する英語基礎学術論文輪講および解説 第9 回：最終プレゼンテーション・討論						
(4)成績評価の方法	受講者の作成するプロダクトおよびそのプレゼンテーションの内容（技術・手法の数理的基礎の理解の妥当性、プレゼンテーションとしての優劣等）によって評価を行い、単位認定を行う。						
(5)成績評価の基準	学術論文を正確に読み解き、わかりやすく説明できれば優						
(6)事前事後学習の内容	事前事後学習については自主的な学習が求められる						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	研究室にて対応する						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						